



フードバンクの支援を受ける 子育て世帯への アンケート調査報告書

1食わずか139円
未来を担う子どもたちの食卓が危機に

2025年2月

認定NPO法人フードバンク山梨



協力：公益財団法人 山梨総合研究所





子育て世帯へのアンケート調査から見たもの

～経済的厳しさの反映～

1食あたり139円は、国の平均の半分以下の低水準

認定NPO法人フードバンク山梨
理事長 米山けい子

当法人の2024年度4月から1月までの支援状況は、全体で約1万1000世帯にのぼり、昨年度と比べて約20%の増加となりました。この支援数の増加に伴い、今年度は1世帯あたりの支援回数を制限し、配布する食品の内容も調整せざるを得ない状況となりました。お米の配布量を減らすなどの措置も講じています。

今回の調査は、2024年冬に支援を受けた1,048世帯を対象に実施し、高い回収率（46.6%）を達成しました。回答者の76.5%が母子ひとり親世帯であり、育児・仕事・家事に追われる多忙な日々のなかで協力いただいたことは、現在の厳しい状況を社会に伝えたいという強い意思の表れでもあります。フードバンク山梨としても、こうした声を社会に届けることが使命であると改めて認識しています。

調査結果からは、健康・教育・精神・経済・社会のあらゆる側面において深刻な影響が及んでいる実態が浮かび上がりました。特に、子どもの発育や学習への影響は、将来的な貧困の連鎖を生む要因となり、社会全体で取り組むべき課題です。

私たちは、社会から取り残された人々の声を広く発信することで、一人でも多くの方に理解を深めていただき、支援の輪を広げていきたいと考えています。

【物価高騰緊急支援】

～追い詰められているあなたの力になりたい～

フードバンク山梨はこのアンケート結果を受けて、物価高騰の影響を受ける子育て世帯に向けて、3月に緊急食料支援を実施します。

対象条件をご確認のうえ事前にお申込みをいただき、当日はフードバンク山梨にご来場いただいた方へ食品をお渡しします。

【申込期限】 2025年3月12日（水）17:00まで

【実施日時】 下記の日程で実施します。

- ・ 2025年3月28日（金）9:00-19:00
- ・ 2025年3月29日（土）9:00-17:00

対象とする
世帯

- ①18歳以下の子どもがいる住民税非課税世帯
- ②児童扶養手当を全額受給する世帯

■調査目的

度重なる物価高騰で、私たちの食料支援を受けている子どものいる世帯生活状況の実態を把握し、今後の対策につなげる事を目的とした。

■調査結果のまとめ

① 物価高騰の深刻な影響を受ける母子ひとり親世帯

76.5%に上る母子ひとり親世帯は、特に脆弱な立場にあり、深刻な影響を与えている。一人で家庭を支える負担が大きく、経済的困窮と健康リスクの両面で深刻な問題を抱えていることが示唆される。

② 1食わずか139円 未来を担う子どもたちの食卓が危機に

本調査では、全体の中央値が1人1日あたりの食費は417円で、1食あたり139円と極端な低水準であった。総務省の2023年「家計調査」での1日あたり853円と比較すると半分以下となった。

特に子どもに必要な栄養バランスの取れた食事の実現が困難で、これにより子どもの成長や健康へのリスクが高まっている。

「子供にだけにはしっかり食べさせて、大人はあまり食べないようにしている」という声が多数。親の健康状態も悪化する可能性がある。

③ 食品や光熱費などの値上りの影響

～物価高騰の波に限界を迎える生活～

「燃料代」や「電気代」の値上がりが強い影響を受けている。

食品では「お米・パン」「野菜」「肉類」がおおく影響を受けている。このことは生きるために必要なエネルギーが不足して、栄養バランスの取れた食事を取ることが難しくなっていることが推察される。

生活費を圧迫する物価高騰で、食費や光熱費の節約は86.3%に上っている。

「料理する時に入れる食材を減らす」「料理の品数減らす」「休日は朝昼兼用で食べる」「もやしでかさましする」「厚着をして暖房はつけない」などの声があった。

これらの世帯は、現在の急な物価高騰に対する柔軟な対応が難しく、結果として食費などの支出が削減されがちになる。

④ 雇用形態と勤務形態が生む経済的不安定

～働いても厳しい生活から抜け出せず～

非正規雇用や契約社員、パートタイムなどの非正規雇用58.3%で、不安定な雇用形態が多く、安定した収入の確保が困難な状況である。

単に食費の低水準という問題だけでなく、非正規雇用や不規則な勤務形態、低収入という複合的な要因が重なり、特に母子ひとり親世帯に深刻な経済的困窮と健康リスクをもたらしている。

「土曜出勤」や「日曜・祝日出勤」更に夜勤・早朝・深夜の回答もあり、子どもと過ごす時間の確保が困難な状況である。



⑤ 1ヶ月の世帯収入

～収入は変わらず、支出は増える。止まらない生活困窮の状況～

「10万円～15万円未満」が32.3%と最も多く、限られた生活資金でやりくりする状況。昨今の物価高騰の影響を受けながら、収入は「ほとんど変わらない」が55.8%で、これまでの生活困窮が更に深刻化している事が危惧される。更に、借金を「している」が半数以上だった。

⑥ 不足する子どもの学習機会と体験

学習（塾・教室）が52.6%と一番高く。つぎに学校以外でのスポーツ・文化活動であった。「できない」理由で圧倒的に多いのは、経済的理由が72.3%であった。多くの家庭が月謝や教材費などの経済的負担を主な制約として挙げている。

「生活自体に余裕がない」「生活が困窮している」「塾代が高すぎて払えない」といった深刻な経済状況を示す回答も見られた。兄弟姉妹が複数いる家庭では「全員にやらせてあげるのは厳しい」という声もあった。

送迎の時間が確保できないなど、時間的な課題を挙げている回答が次に多くあった。経済的理由と時間的制約の両方を挙げている回答もあった。特にひとり親家庭では、複合的な問題が顕著となっている。

⑦ 悩みやストレス

今回のアンケートから困窮世帯が直面する課題は「経済的困窮」「育児と仕事の両立」「健康問題」「精神的負担」「サポート不足」という複合的な要素が絡み合っていることが分かる。

特に「経済的な理由」が最も多く挙げられており、生活費や家賃、養育費などの負担が大きなストレスとなっている。また、仕事と育児の両立が難しく預け先がないことが就労に影響を与えている。孤立感を感じている方も多い。

このような状況を改善するためには、単なる経済支援だけでなく、地域での「つながり」を強化し、育児・家事・労働の負担を分散できる仕組みが必要である。

⑧制度や支援要望

特に「経済的支援」「教育支援」「子育て支援」が求められている。具体的には、税制の見直し、学費の支援、一時預かりや物資支援の強化が重要。また、心理的なサポートや制度の隙間にいる家庭への対応も必要である。

1. 経済的支援（36.5%）

- ・税制の見直し
- ・ひとり親の控除額の拡充や、所得制限による不利益の緩和
「頑張って働いても税金で引かれてしまう。非課税ではなくなり、今までかからなかった制度の利用料がかかり、逆に苦しくなっている」
- ・所得制限に関係なくひとり親手当を支給
- ・児童手当の拡充
- ・多子世帯だけでなく、第一子・第二子の支援強化
- ・生活費負担軽減
- ・光熱費やガソリン費の減額措置
- ・ひとり親世帯や低所得世帯向けの空き家活用支援（安価な家賃）
- ・レジャー支援
- ・テーマパークや文化施設の助成クーポン



2. 子どもの教育支援（18.8%）

- ・学費・奨学金制度の充実
- ・返済しやすい貸与型奨学金の拡充
- ・低所得世帯向けの給付型奨学金の拡大
- ・学習支援
- ・塾代助成制度の導入
- ・習い事の費用減額措置
- ・不登校支援
- ・不登校児向けの学習・キャリアサポート
- ・将来の進学・就職に向けた支援プログラム

3. 子育て支援サービス（16.7%）

- ・一時預かり・ショートステイ
- ・休日や親の病気時に利用できる一時預かりサービス
- ・ひとり親や共働き世帯向けの緊急預かり支援

4. 物資・食料支援（12.5%）

- ・食料・生活必需品の支援制度の充実
- ・フードバンクの利用拡大や地域との連携強化

5. 心理的支援（7.3%）

- ・相談窓口の拡充
- ・日常の悩みを聞いてもらえる場の整備
- ・ひとり親や経済的に厳しい家庭向けのメンタルケア支援
- ・制度の隙間にいる家庭への対応
- ・事実上ひとり親と変わらない世帯（戸籍上は結婚しているが、実態はひとり親）の支援制度

⑨ フードバンクの存在が家庭にとって欠かせない存在

フードバンクの支援は、多くの家庭にとって食費の負担軽減だけでなく、精神的な支えにもなっている。特に子どもが楽しみにする支援としての価値が大きい。今後の改善点として、支援対象の拡充、食品の種類や量の調整、受け取り方法の改善、就労支援などが求められている。

支援の継続を願う声が非常に多く、支援が生活の支えだけでなく、希望やモチベーションにもつながっている。

●支援への感謝の声

- ・物価高騰の中で、米や麺類、冷凍食品など日常的に必要な食材の支援が非常に助かっている。
- ・長期休暇（夏休み・冬休み）や年末年始の食費増加時に支援を受けられることが特に有難い。
- ・食品が届くと、子供たちが箱を開けるのを楽しみにしている。
- ・食品だけでなく、日用品（洗剤、化粧品、歯ブラシ等）の支援にも感謝。



●精神的な支えとしての影響

- ・フードバンクの支援により、食費の負担が軽減され、家計が助かるだけでなく、心にも余裕ができる。
- ・「実家からの仕送りのような温かさを感じる」「人の優しさを感じて嬉しい」という声も多い。
- ・ボランティアや寄付をしてくれる企業や個人への感謝が溢れている。

●子どもたちの喜び

「お菓子が入っていると喜ぶ」「クリスマスボックスやケーキ作りセットが嬉しい」など、支援物資が家族の楽しみにもなっている。

子どもが食品を受け取り、感謝の気持ちを学ぶ機会にもなっている。

2. 要望・改善点

●支援の拡充

- ・現在の支援対象が高校3年生までとなっており「大学生になっても支援を受けたい」との要望が多数。18歳までの学習支援を希望する声も。
- ・お米の量を増やしてほしい
- ・子どもの人数に応じた支援量の調整（お菓子の取り合いを防ぐため）。

●受け取り方法の改善

- ・夜間の受け取りができると助かる
- ・申請手続きの簡略化を希望

その他の支援の提案

- ・企業との連携により、短期・単発の求人情報を提供してほしい
- ・ダブルワークをした場合の支援減額を考慮してほしい（働くと支援が減るため困る）

3. 支援の継続を望む声

「フードバンクがなくなると本当に困る」「この支援がなければ、お米を食べることができなかった」など、継続を強く希望する声が多数。

「いずれは支援する側になれるように頑張りたい」という前向きな声も見られる。



調査の 概要

1. 調査の目的

物価高騰が続く中での生活状況を調査し、今後の支援にいかす

2. 調査について

① 調査対象

当法人が2024年12月16日～20日に行った
「フードバンクこども支援プロジェクト」で食品を受け取った891
世帯と「高校生支援」で食品の提供を受けた157世帯

② 調査方法と回収状況

食品を詰めた箱にチラシを同封し、
チラシに印刷したバーコードよりGoogleフォームで回答を収集

③ 調査期間

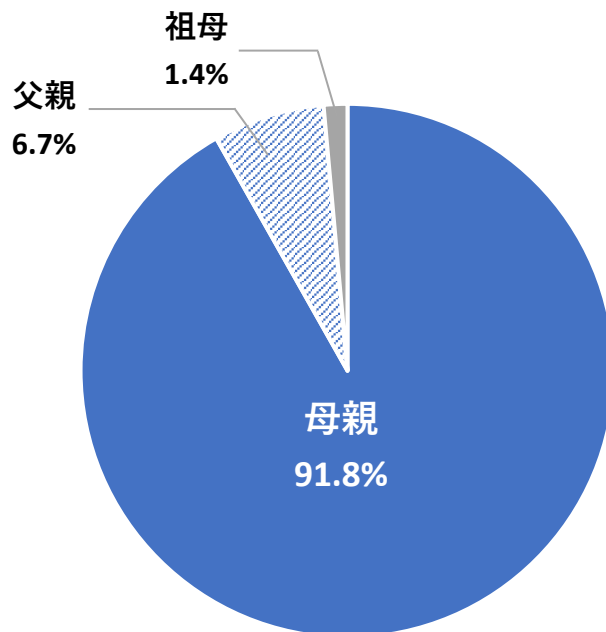
2024年12月17日～2025年1月5日

④ 回収状況

調査世帯数1048 回収数489 回収率 46.7%

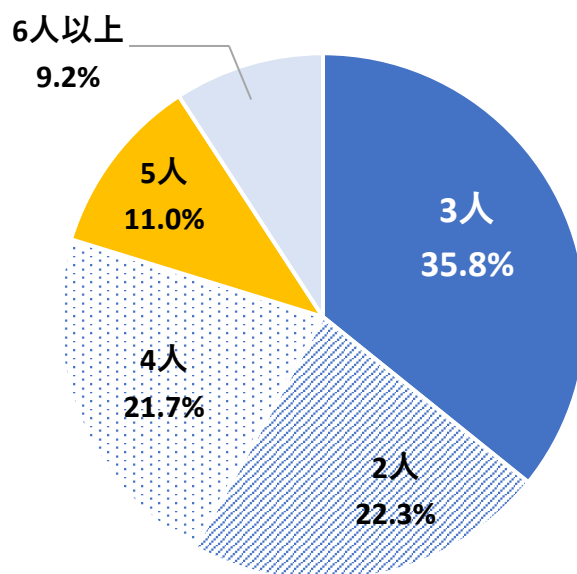
調査の 結果

1. 回答した世帯の属性（回答数489）



回答者の91.8%が「母親」で457人。
「父親」は6.7%で34人であった。
「祖母」が1.4%の7人いた。

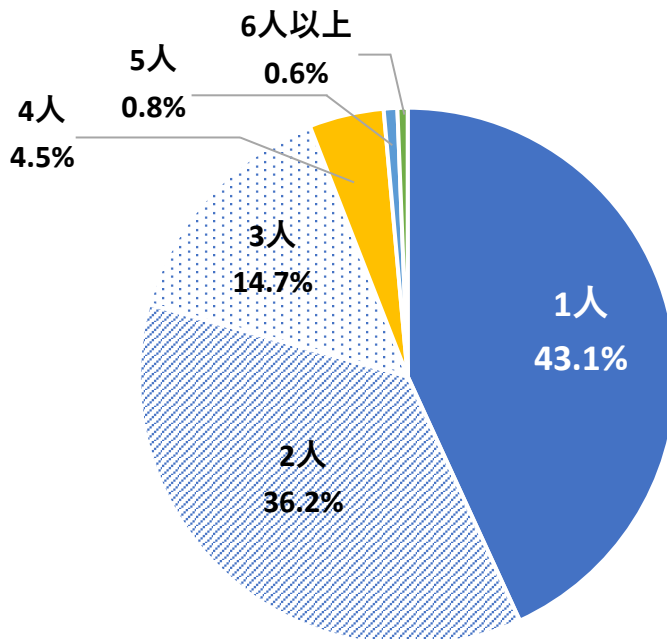
2. 世帯構成人数（回答数489）



「3人」が最も多く35.8%。
「2人」が22.3%、
「4人」が21.7%と続いた。

1世帯の人数は
平均で3.5人

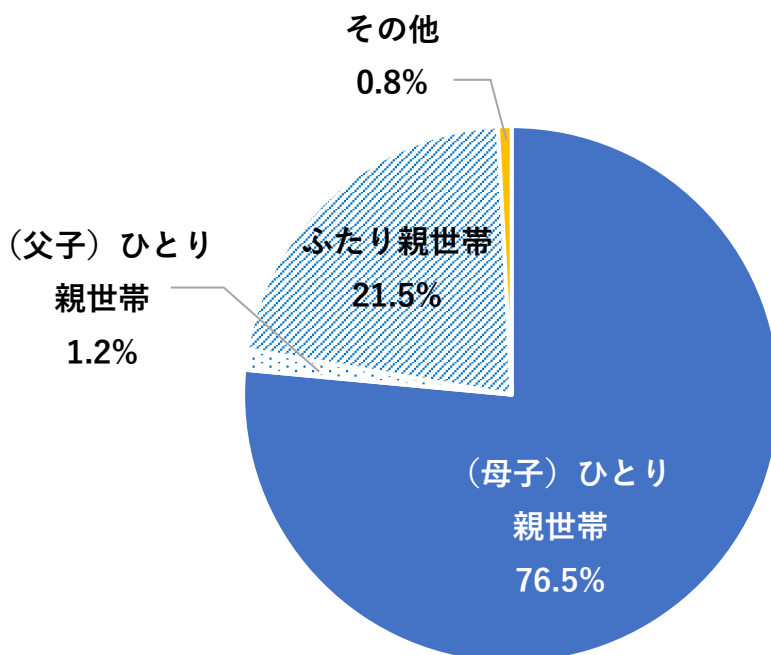
3. 扶養する子どもの数（回答数489）



18歳未満の子どもの人数は「1人」が43.1%で最も多く、「2人」が36.2%。「3人」は14.7%であった。

1世帯の人数は平均で1.8人

4. 世帯形態（回答数489）

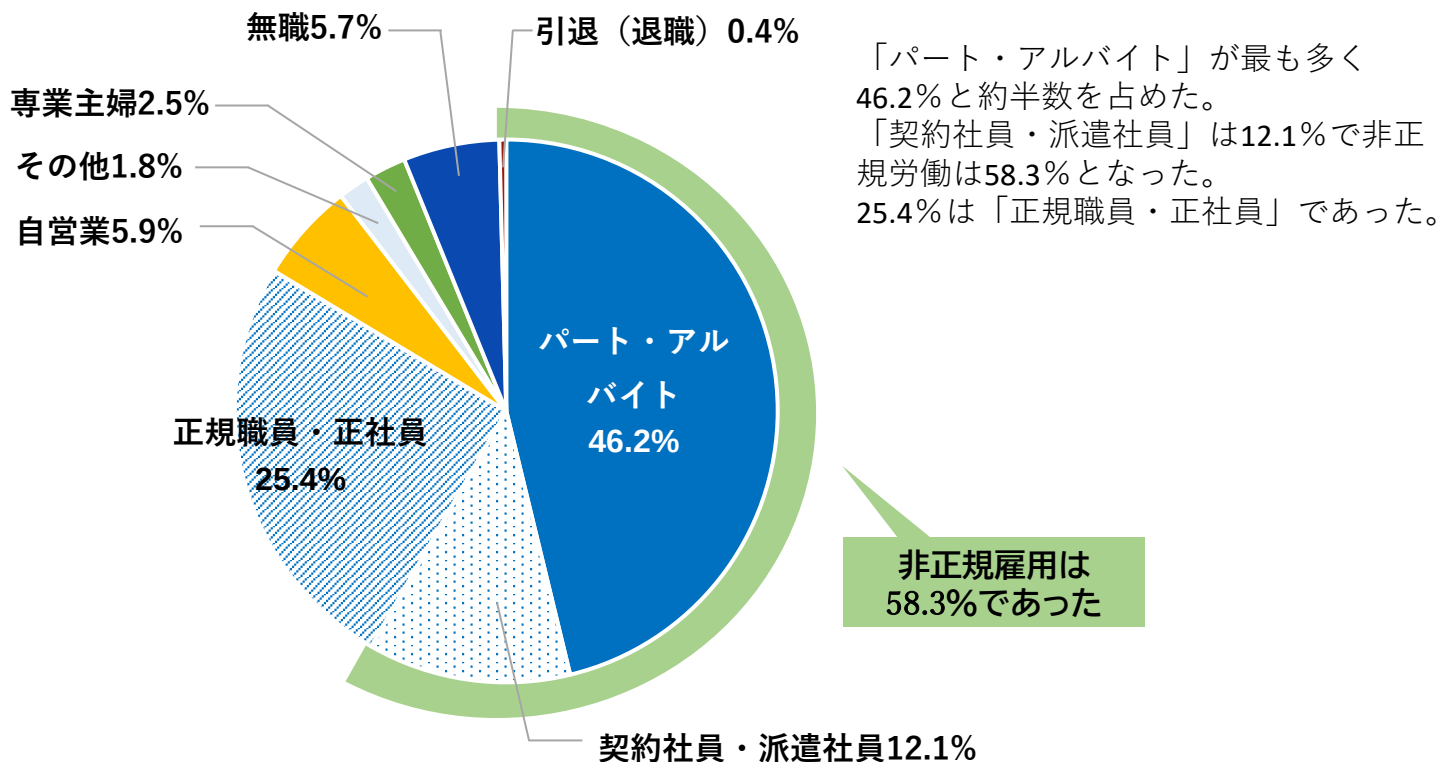


家族構成は「母子ひとり親世帯」が76.5%で374世帯。

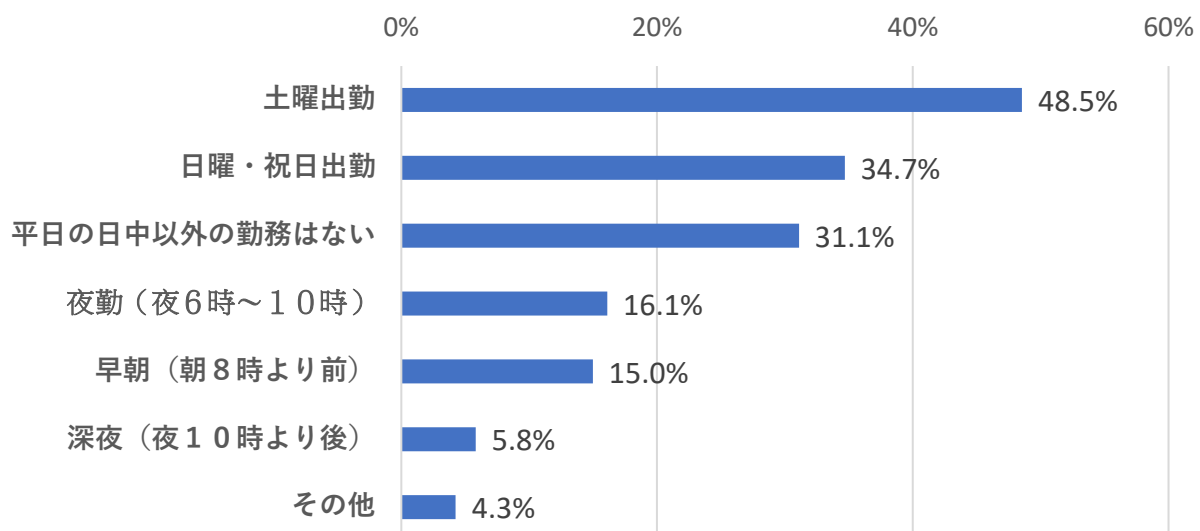
次いで「ふたり親世帯」が21.5%・105世帯であった。「父子ひとり親世帯」は1.2%・6世帯であった。

「その他」には祖母や祖父母が孫を養育している世帯が含まれる。

5. 雇用形態（回答数489）

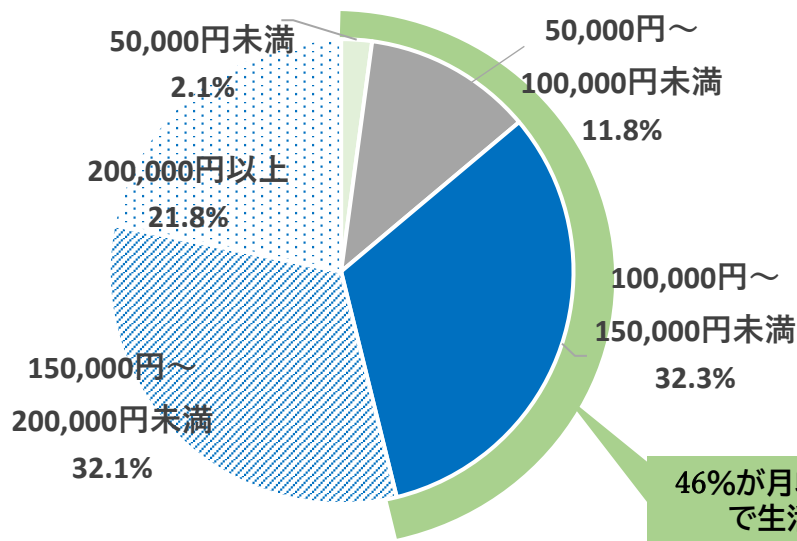


5-1. 平日の日中（午前8時～午後6時）以外の勤務がありますか。 （複数回答）（回答数447）



「土曜出勤」48.5%・「日曜・祝日出勤」34.7%が「平日の日中以外の勤務はない」31.1%を上回った。
さらに「夜勤」「早朝」「深夜」の回答もあった。

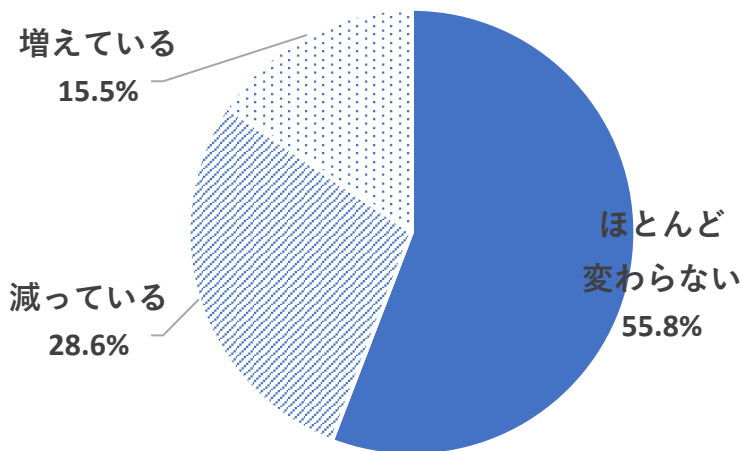
6. 現在の1カ月間の世帯収入金額（平均的な手取り額）は、おおよそいくらでしょうか。
金額（概算額でけっこうです）をご記入ください。（例：15万円なら150000 と記入）
（回答数498）



「100,000～150,000円未満」の回答が32.3%で最も多く、次いで「150,000～200,000円未満」32.1%となった。
「200,000円以上」は21.8%であった。
「50,000円未満」の回答は2.1%であった。

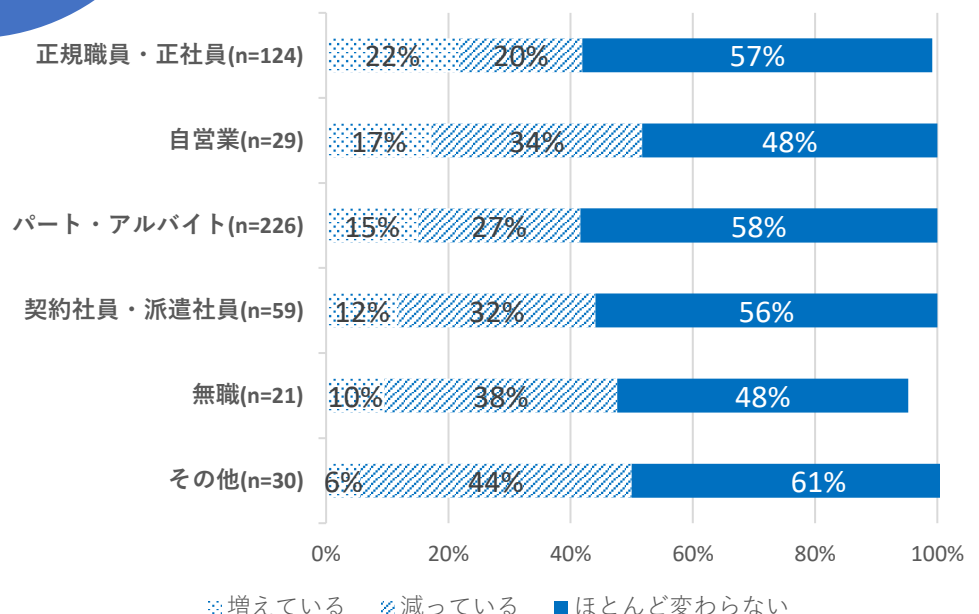
46%が月収15万円未満で生活している

6-1. 前問でお答えいただいた金額は、
今から1年前の世帯収入・月額と比べて増えて（あるいは減って）いますか。
（回答数489）

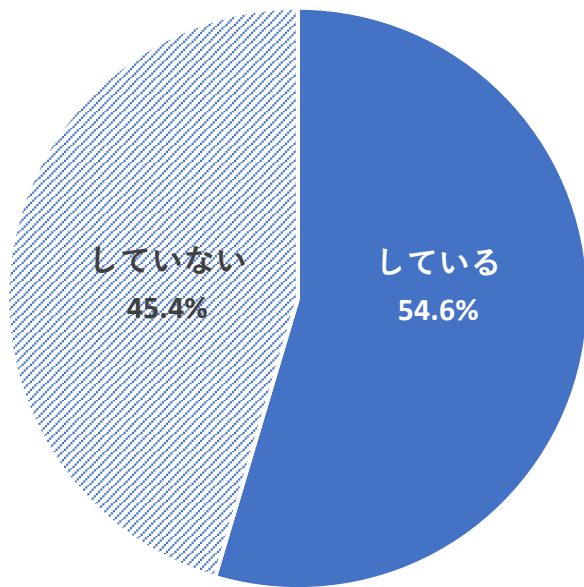


「ほとんど変わらない」が半数強となった。
「減っている」が3割を占め、
「増えている」は15.5%に留まった。

雇用形態別に分析すると、正規職員・正社員は「増えている」との回答が2割を超え、他の雇用形態に比べると増加傾向の回答が多い。
一方で、自営業、パート・アルバイト、契約社員・派遣社員では「増えている」が2割を下回っており、特に自営業や契約・派遣社員では「減っている」との回答が3割を超えている。
これにより、雇用形態によって収入の増減に差があることが確認できる。



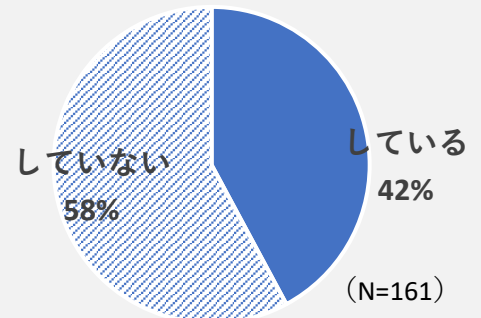
7. 現在、借金（含・自動車や住宅などの長期返済ローン）をしていますか。（回答数489）



「している」が54.6%で、「していない」45.4%を上回った。

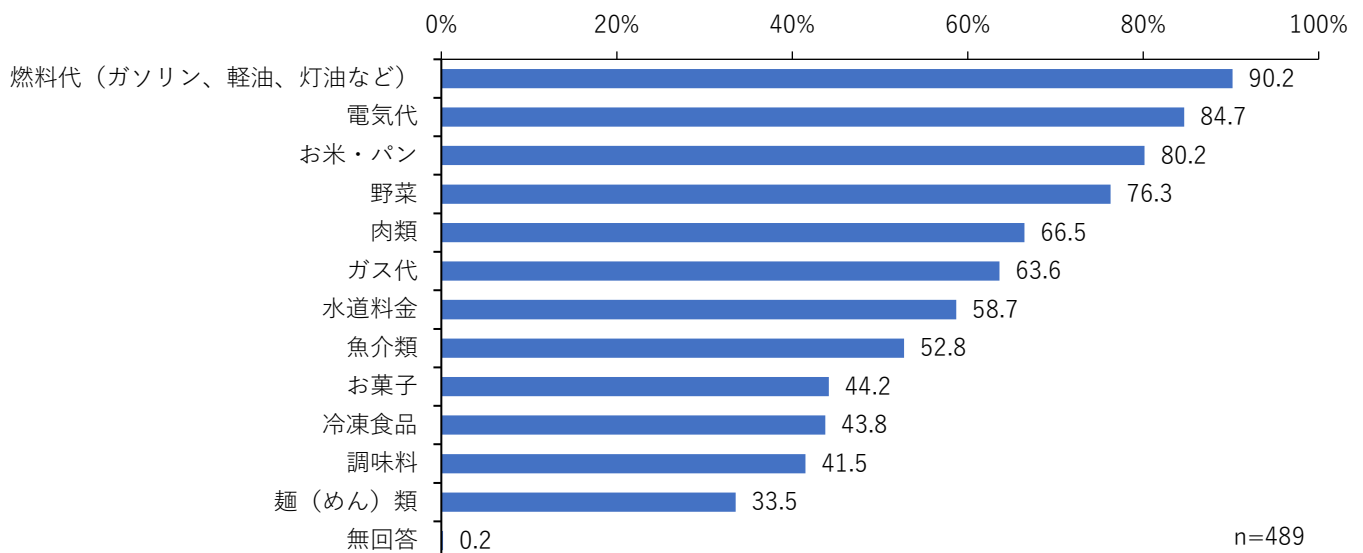
借金の割合、過去調査と逆転

「現在、借金をしていますか」



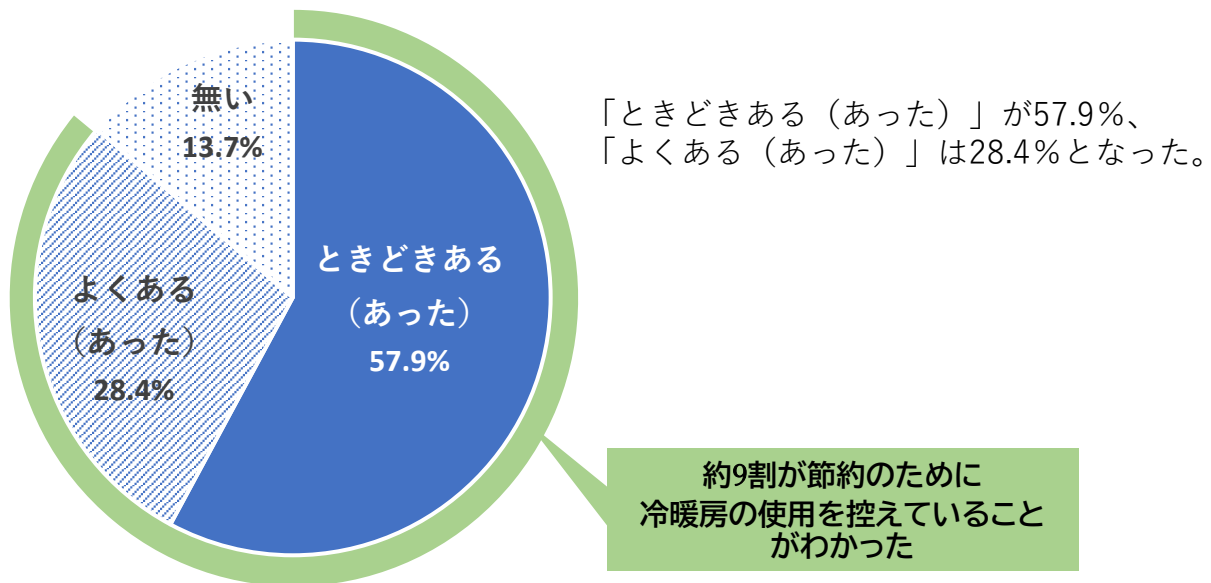
当法人が2022年4月に実施
「フードバンク子ども支援プロジェクト保護者アンケート調査」

8. 食品や光熱水費などの値上がりが続いています。
値上がりしているモノの中で、あなたの生活に影響しているものを教えてください。
（当てはまるものがあれば、すべてお選びください）（回答数489）



燃料代（ガソリン・軽油・灯油など）や電気代の値上がりに強い影響を受けていることがわかる。次いで、お米・パン、野菜、肉類といった基本的な食料品の値上がりも大きな負担となっており、エネルギーコストと食費の上昇が家計を圧迫していることが推察される。

9. 今年の夏の猛暑時や冬の厳寒時に、節約のために冷房や暖房をつけないで過ごしたことがありますか。（回答数489）

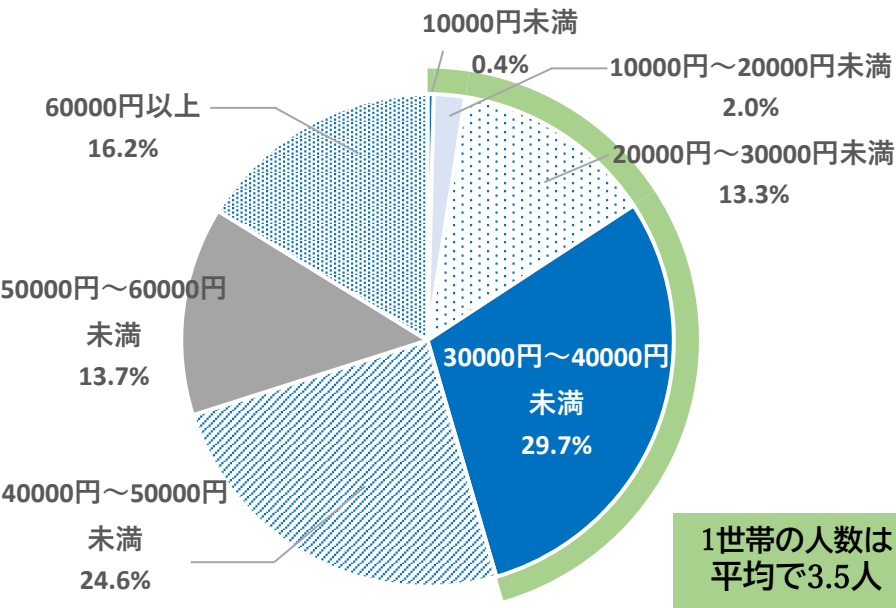


10. 食費や光熱水費の節約のために取り組んでいることがあれば、教えてください。（回答数386） * 原文ママ

- ・ 子供にだけにはしっかり食べさせて、大人はあまり食べないようにしている。
- ・ 見切り品を買い、小分けにして冷凍する
- ・ 子どもたちはお肉を食べますが私はなるべく食べないように納豆などにしています。
- ・ 料理する時に、入れる食材を減らす。料理の品数を減らす。休日は基本朝昼兼用で食べる。
- ・ 私（母親）のご飯を減らす。食べない。
- ・ もやしなどでかさまし
- ・ 基本まとめ買いで無駄に買い出しに行かないようにしている、値引き商品や安い食品を主に購入して安く抑えている。光熱費は冬がすごく高くなるため在宅時は厚着をしてなるべく暖房を使わない。温かい料理を作って体を温める。掃除や片付けでちょこちょこ動き、暖房に頼らないようにする。冬は、朝と21時以降しか暖房を使わないと決めている。
- ・ 外食をしない。エアコンは使わない
- ・ 家で野菜を作る。暖房は使わず厚着をする。
- ・ お風呂は湯船にためずシャワーで子供はいまだにベビーバスで入っている。夏はエアコンをつけず雨戸や窓を締め切り太陽光や熱風が入らないようにして扇風機で耐えた。車も通勤の行き帰りエアコンをつけず窓を開けて耐えた。(保育園に迎えに行ったあとや休みの日は子供が同乗しているので仕方なくエアコンをつけた)
冬もエアコンなし。ファンヒーターは今年は12月9日から使い始めた。子供を風呂に入れた後や朝の着替え時につけてそのあとは消してしまうためひと冬で18Lに収めている。
- ・ トイレは自分と子供と2回したら流す。洗濯は2日に1回。
- ・ 厚着をして過ごして暖房はつけない。窓を開けてクーラーはつけない。トイレの便座は常にオフ。お風呂は半分しか溜めない。電気の明るさは1番暗くする。外食は出来ない。広告品しか買わない。
- ・ サービス品をかう。外食をしない。レジャーに行かない。節電節水。リサイクル品の活用。



11. 1 カ月間の世帯全体の食費をお聞かせください。
(例：35,000円なら 35000 と記入) (回答数489)



「30,000円～40,000円未満」の回答が最も多く、次いで「40,000円～50,000円未満」。
「40,000円未満」は全体の45.5%となった。
また全体の中央値は、ひと月あたり「12,500円」、1人1日あたり「417円」、1食あたりは「139円」となった。
※1ヶ月の食費÷30日=1日の食費
1日の食費÷世帯人数÷3食=1日1人あたりの食費

1人1日417円・1食あたり139円

全体の中央値		
ひと月あたり	1日あたり	1食あたり
12,500	417	139

(円)

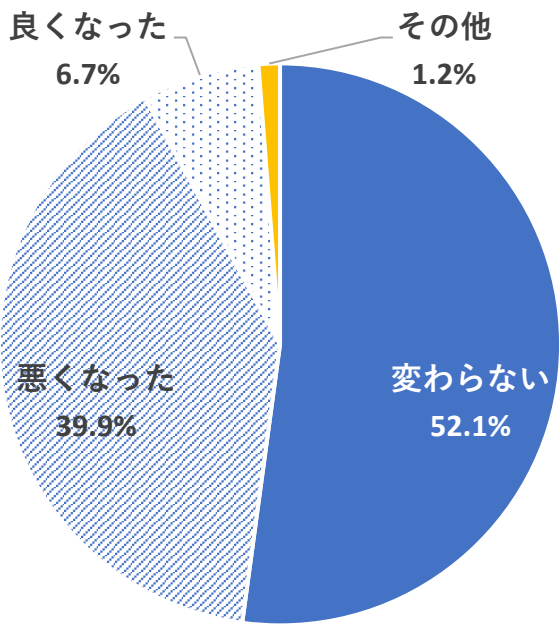
世帯人数	2	3	4	5
食費平均	72,399	85,557	90,712	101,806
1日1人あたり食費	1,207	951	756	679

853 (円)

(参考：総務省「家計調査」(2023年))

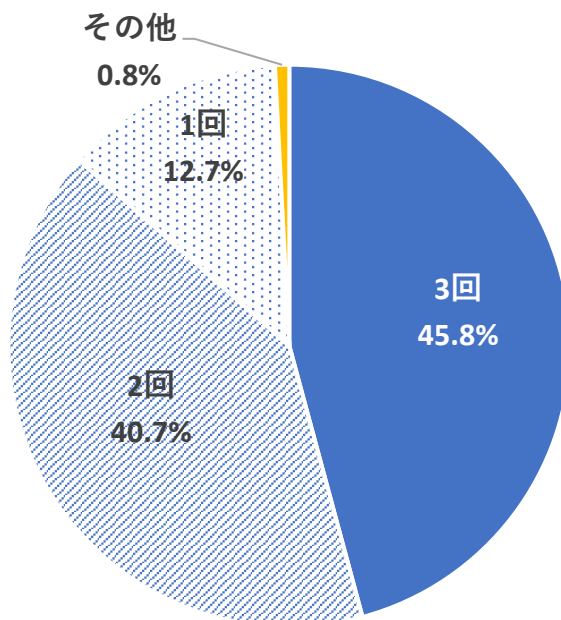
本調査の世帯当たり人数は平均3.5人。
一般データで該当する「3」「4」の平均「853」と比較すると約半額程度となった。

12. 1年前と比べて、ご家族の食事の内容（量と質（栄養バランス等））は良くなりましたか。(回答数489)



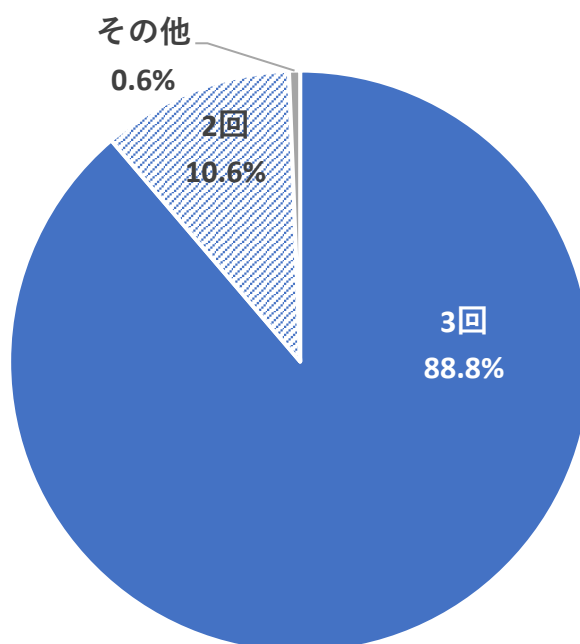
「変わらない」は52.1%であったが、「悪くなった」が39.9%あった。「良くなった」は6.7%に留まった。

13. あなたの昨日の食事回数についてお伺いします。（回答数489）



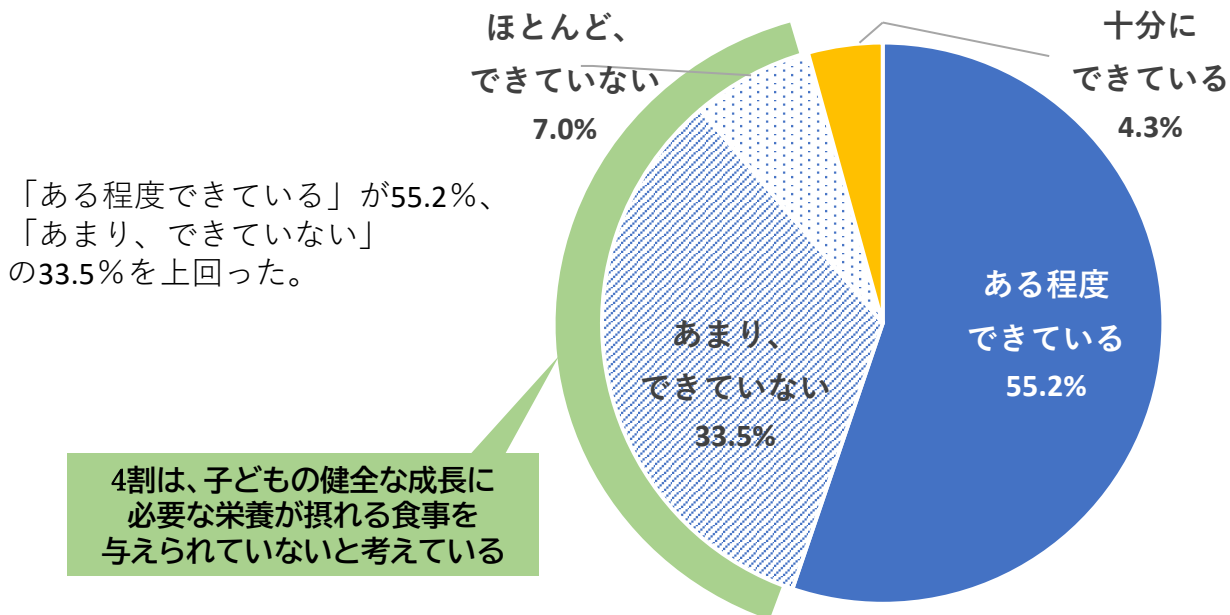
回答者（保護者）の
一日の食事回数は「3回」45.8%、
「2回」は40.7%であった。
「1回」と回答した人も1割以上存在する。

14. お子さまの昨日の食事回数についてお伺いします。（回答数489）

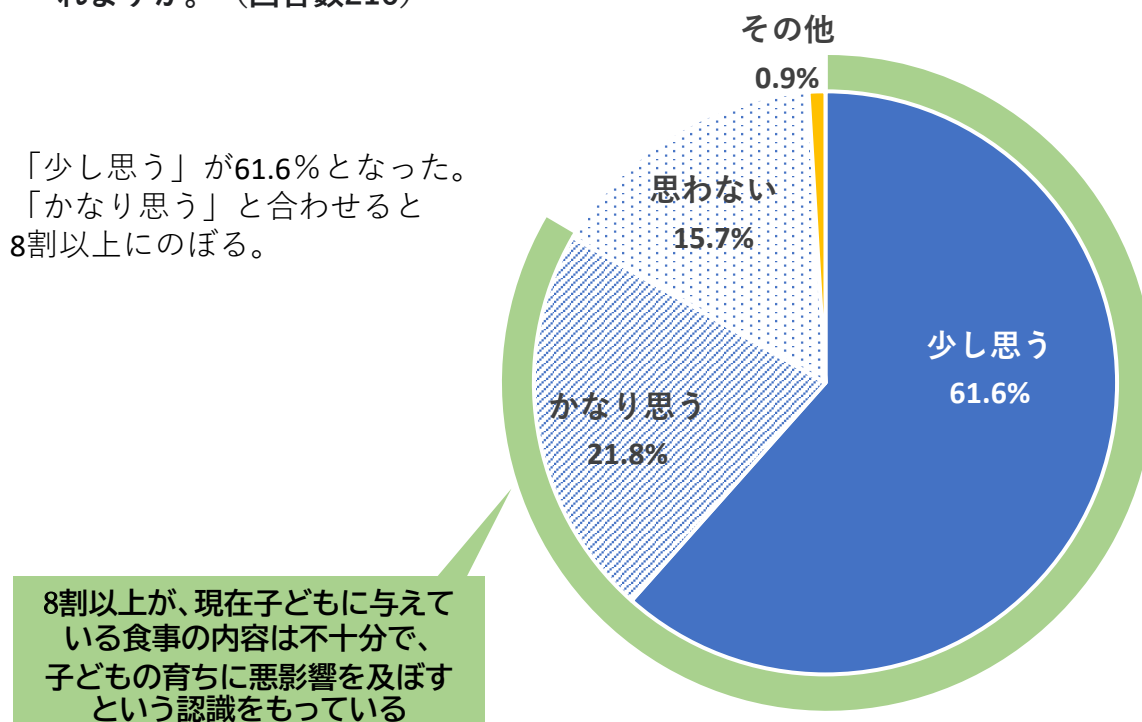


子どもの食事回数は
「3回」が88.9%、
「2回」は10.6%となっている。

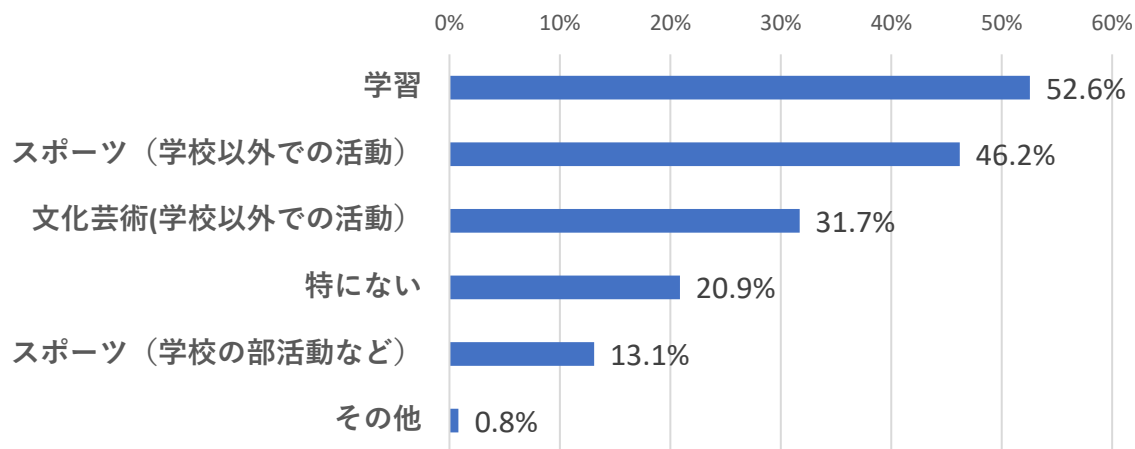
15. 子どもの健全な成長に必要な“栄養バランス”の取れた食事（適量の肉や魚、野菜等のおかずを含む献立）を与えることができていると思われますか。（回答数489）



15-1. 前問で「あまり、できていない」「ほとんど、できていない」と答えた方におたずねします。それにより、子どもの成長や健康に不利な影響が出ていると思われますか。（回答数216）



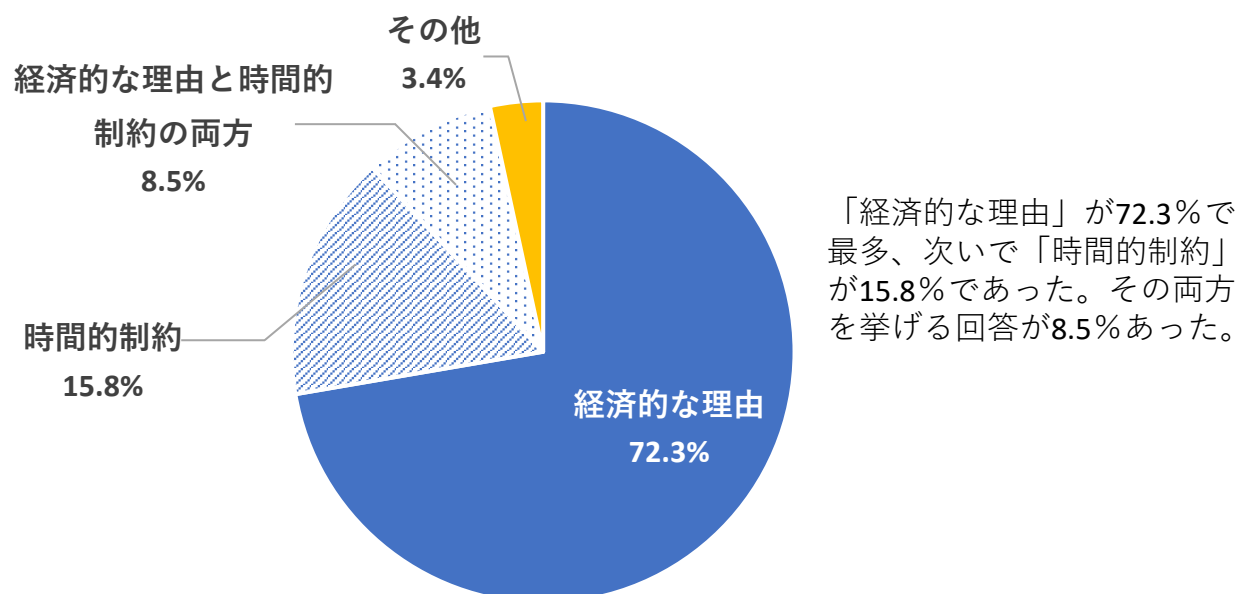
16. お子さまにやらせてあげたいけれど、現在はできていない学習・体験分野はありますか（複数回答）（回答数489）



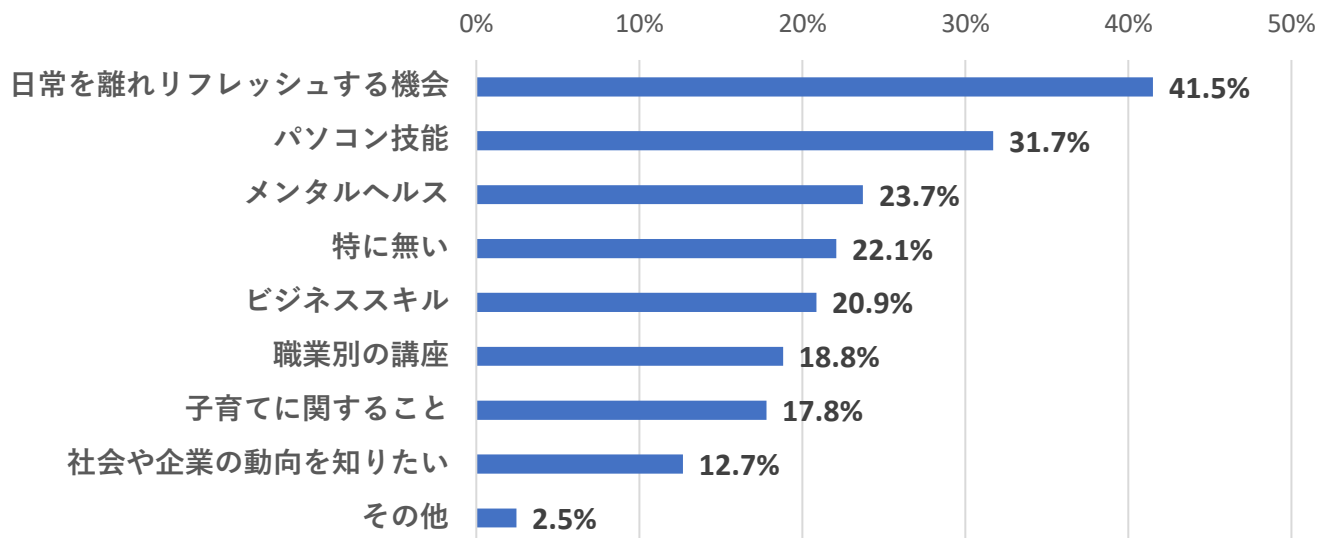
「学習（学習塾、〇〇教室など）」が最も多く52.6%、「スポーツ・運動（**学校以外**での活動）」46.2%が続き、「文化・芸術（**学校以外**での活動）」13.1%の順となった。

16-1. 前問で「やらせてあげたいけれど、現在はできていない」と答えた方におたずねします。

「できていない」主な理由をお聞かせください。（回答数340）

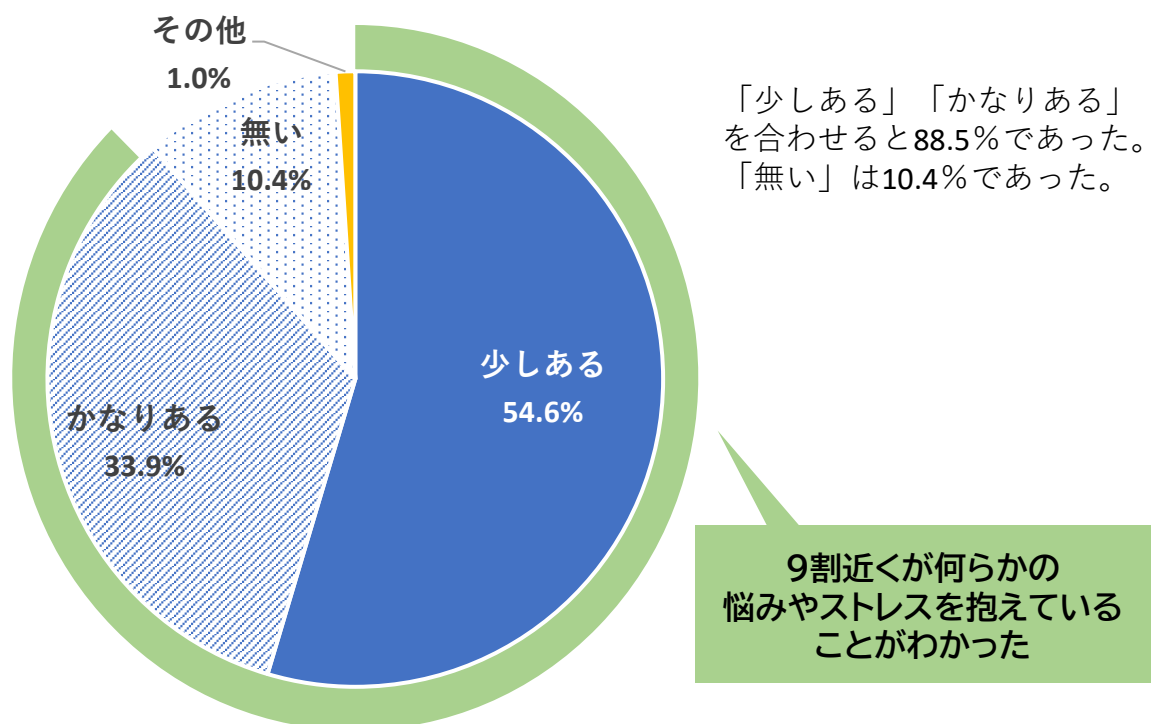


17. 今後、ご自身のために取り組んだり参加してみたいことについておたずねします。
以下の項目の中から、特に取り組んでみたいことを選んでください【複数回答可】
(回答数489)

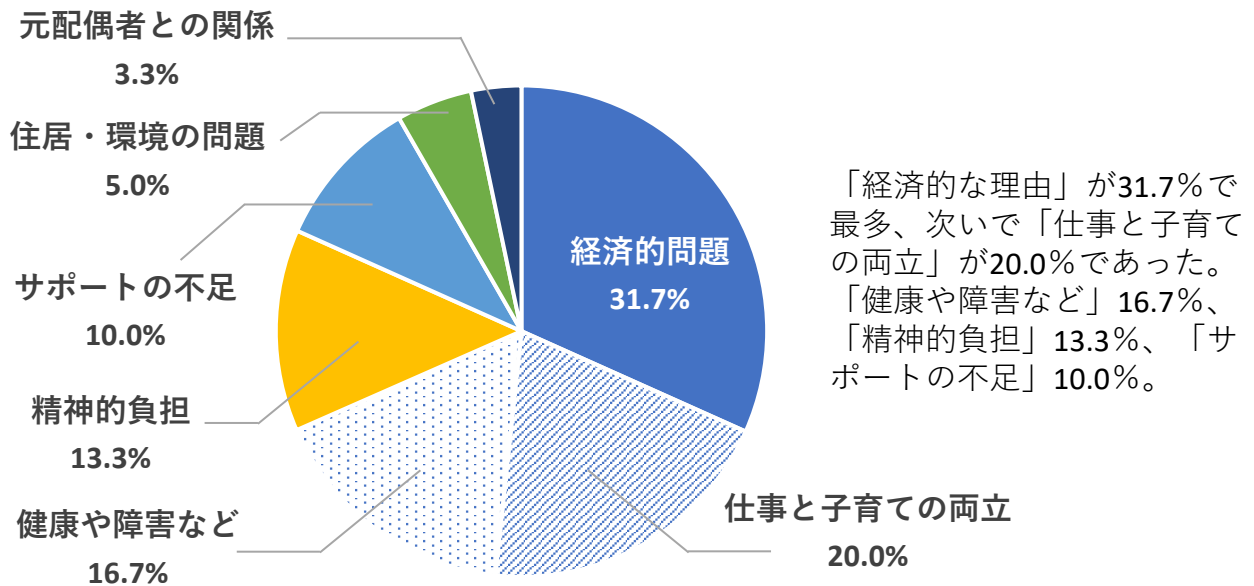


「日常を離れリフレッシュする機会」が最も多く41.5%、「パソコン技能」31.7%が続き、「メンタルヘルス」23.7%、「ビジネススキル」20.9%の順となった。

18. お悩みやストレスはありますか。(回答数489)



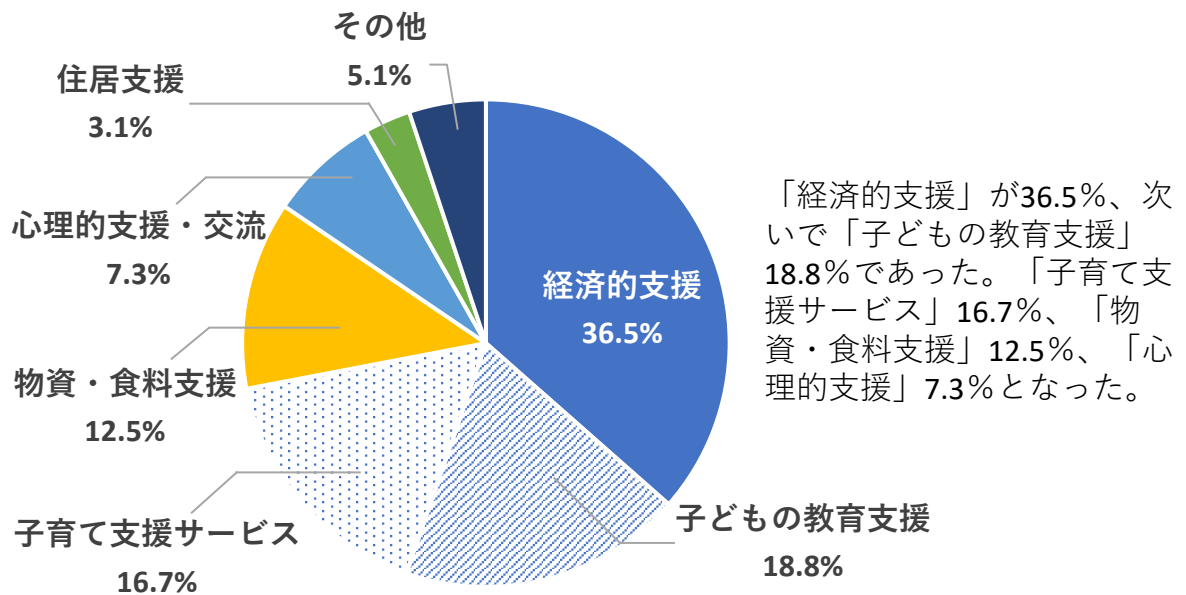
19. 現在、困っていることやご要望などがありましたら、お聞かせください。
 (例えば、お子さんとの関わり方、家庭での生活、暮らし向きや心身の状況、就労状況、他者との関わり、など) (回答数227)



【自由記述より（原文ママ）】

- ・給料は増えないが、物価高騰で参っている。
- ・自家用車が無いと生活に困るが、維持費がかかったり、管理するのに知識がなく困ることがよくある。
 固定費の大半をしめる家賃を下げたいが、子どもは大きくなるのに、広い間取りの部屋は家賃が高いので家賃を下げるのは難しい。
- ・子供に好きな事や、やりたい事をやらせてあげれてない事。生活が厳しくなった事でピリピリしたりイライラしたりする事がある。
- ・子供との時間は大事にしたいのですが、給料も不安定の中、物価高で貯金も底をつき、すぐにも副業しなくてはならない。けど子供が1人で寂し思いをさせてしまう。
- ・子どもの預け先がなく、まだ小学1年なのでいつも一緒に行動する必要があり、子どもが病気の際は仕事を休まなければならないし、自分が具合の悪い時も家事を任せられる人がいないことが少し大変です。近くに気軽に預けられる施設などがあればいいなと本当に思います。
- ・子供が鬱病の治療中です。それが一番心配事です。
- ・お金がない、子供が喘息持ちで風邪引くと熱を出しやすくて休みが多くなり、仕事をクビになる。今現在は内職してるけど、収入が少ない。
- ・子どもの発達障害のための定期検診などでお仕事の時間を削るしかなく、自宅で在宅のお仕事を探してみたりとしていますがなかなかありません。祖父母も通院などで頼れず、主人は夜勤などがある為不安なことも多いです。
- ・1人で叱って1人で慰めて導くのが難しい。
- ・異性の子供なので、思春期が近づいていることに不安を感じています
- ・大型家具を運びたい。力仕事が出来なくて困っている。手伝ってくれるボランティアが居てくれたらいいなと思っている。
- ・元旦那が養育費を払ってくれない。
- ・元旦那と子供の関わり方

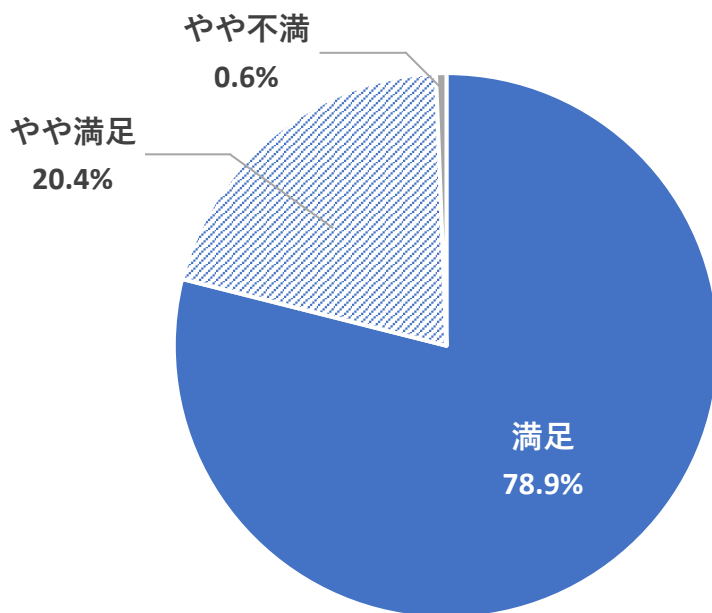
20. あなたやご家族が安心して暮らせるようになるために、こんな制度や支援内容があれば助かると思うものがありますか。（回答数242）



【自由記述より（原文ママ）】

- ・頑張っても税金で引かれてしまう。非課税ではなくなり、今までかからなかった制度の利用料がかかり、逆に苦しくなっている。103万円の壁よりひとり親の控除額にも目を向けて改善してほしい。国の給付金の対象からも外れ、本当に苦しい。
- ・ひとり親手当の所得制限の撤廃。1人で子供の為に仕事を頑張ってるのに、所得によって手当が増減するのは不公平。頑張っても手当が減るんちゃ頑張る意味がないです。
- ・児童手当は多子世帯に手厚くだけではなく1人目2人目こそもっと手厚く支援対応してほしいと思います。
- ・貸与型でも、借りやすく余裕を持って返済できる奨学金が増えると助かる。
- ・塾代助成など、教育費が無料になるといい
- ・習い事等の減額措置や光熱費、ガソリン減額措置などあれば有り難い
- ・病気の時ほど、ショートスティみたいなのが有難いです
- ・子ども食堂は近年あちらこちらでやっていただけてますが、食べ盛りの中高生が学校帰りなどに腹ごしらえ出来る支援があったら有難いです。
- ・障がい者に対する制度は整っていますが、不登校の子に対しての将来的な支援があったら心強いです
- ・ひとり親世帯に変わり無いけど、色々事情があり籍が入っているものの、ひとり親としての制度や手当が受けられてないグレーゾーンの世帯に対しての何かしら制度があったらと思います。
- ・テーマパークなどの助成クーポン
- ・休日に子供を数時間でも預けられるサービス
- ・オムツの支援やミルクの支援が欲しい
- ・日常生活の話を聞いてくれる場
- ・ひとり親や貧困家庭に安い家賃で空き家を貸すような支援があったら嬉しい。

21. 当プロジェクトにどれくらい満足していますか。あなたの考えに最もあてはまる、いずれか一つを選んでください。（回答数489）



「満足」が78.9%となった。
「やや満足」を合わせると99.3%で、
「不満」の回答は無かった。

22. フードバンク山梨の諸活動について、ご意見やご希望、ご感想をご自由にお書きください。（回答数270）*原文ママ

- ・色々な物が高騰しており、お米も満足に買えない中で、皆さんからの心のこもった支援にとっても助けられています。本当にありがとうございます。
- ・いつも感謝してます。フードバンクさんの食料支援で、食費も助かる他、子供の笑顔も見ることが出来ます。
物価高・食品高騰、冬場の光熱費など、あらゆる物が高くなっている今、自分も出来る限りの努力・工夫をして大変な冬を乗り越えたいと思います。
- ・いつも有り難うございます。
箱を開けると毎回子供にだけでなく化粧品などいつも後回しにして購入出来ない物資が入っていることに驚きと嬉しさと感謝の気持ちがあります。様々な方の協力に支えて頂いてる事に感謝しながらいただきます。
- ・夏休みと冬休みと本当にありがとうございました。おかげで子供をお腹を空かす事なく食べさせてあげられました。
- ・お米5キロがとても助かっています。
子供は中3の男の子ではありますが、ケーキの手作りセットなんかは喜んで作っていました。ありがとうございます。
- ・フードバンクが家族の楽しみとなっており、届くのを楽しみにする事が気持ちを豊かにしてくれています。ありがとうございます。
- ・フードバンクさんの活動にどれだけ支えられているかわかりません。今日も何も家にないし、お菓子も買ってないなあ...なんて思いつつ帰宅し、段ボールが届いて、心から感謝しました。食事面だけでなく、心にも余裕を持たせてくれる活動です。これからもよろしくお願いします!!



- ・普段お菓子をあまり買わないので、お菓子が入っていると子供がとても喜んでいて、私もその様子を見て嬉しいです。
- ・フードバンクさんにはいつも支えられてます。物価高騰してる中で出費も重なりお米や子供のお菓子、レトルト食品や日用品も含め本当に助けられてます。荷物が届くとホッとした温かな気持ちになれ子供とも有り難いね〜と会話しながら何が入ってるかと箱を開けるのが楽しみです。皆様の支援に心から感謝してます。
- ・子ども支援プロジェクトには、沢山の支援をしてくださって返しきれないほどの恩があります。いつかお返し出来るように、頑張りたいと思っています。
- ・いつも本当にありがたく、心から感謝しております。今回クリスマスケーキの手作りセットもとても心温まる思いで、子供たちもすごく喜んでいました。子供たちと共にこの御恩を胸に刻み、励みにして日々頑張っていきたいです。
- ・いつもありがとうございます。食品の支援自体にも助かっていますが、人のやさしさをとても嬉しく感じております。
- ・フードバンクさんは様々な企業さんと接点があることと思います。それらの企業さんからの求人情報などありませんか。単発・短期・季節就労等の求職情報をいただけると働きたい方への手助けになると思います。信頼できる機関からの情報は安心できます。
- ・本当に愛のある活動だと思います。実際に心が救われます。厳しい中でも頑張ってお送りくださる皆様と寄付を行ってくださる方に感謝です。